

門川町教育研究所だより



かどっぴー・がわっぴー・びろっぴー

ふれあい

第6号 令和4年2月発行
発行所 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

県教育研究機関連絡協議会「研究発表大会」で研究発表を実施！

本年度、県内各教育研究機関（教育研究所）が研究した内容を発表する大会が、2月4日（金）、オンライン開催され、門川町教育研究所も門川町役場を発表会場にして研究発表を行いました。その時の様子をご紹介します。



開会行事に臨む研究員です



プレゼン発表中の研究員です



これは発表プレゼン
スライドの1つです



本年度の研究活動もこの研究発表をもって終了となります。昨年5月より今日まで、学校や研究所もコロナ対策による様々な制約を受け、思うような研究活動ができませんでした。その中で、各小・中学校から推薦された先生方は校務終了後、五十鈴小学校内にある研究所へきて、門川町の教育的課題である「確かな学力の向上」「教員の授業力向上」の解決に向け一所懸命取り組んできました。その結果をオンラインという形で発表できたことは大きな収穫となりました。研究員の皆さんに拍手を贈りたいと思います。



保護者の皆様へ～心に残った本の一節！紹介

～「いのちある言葉」～ ゆたかな青春の日のために

《スポーツにおいて記録を保持することは、絶えずそれを突破することである。》

これはあるスポーツ選手の言葉です。たとえ、ひとりのスポーツマンが記録の保持者であっても、それは決して永続できないということ。そして短期間にせよ、もしこれからもこのタイトルを維持しようとするならば、たえずこの記録をみずから更新してゆかねばならないということ。まさにそのとおりです。だれがいったのか、「記録はやぶられるためにある」ということばもあります。このようなことは私たちの人生のいろいろな場面についても言い得るのではないのでしょうか。

もし私たちがいま到達したひとつの成果、ひとつの段階に満足し安心したままでは、必ずこれは停滞に陥らざるを得ません。そうでないからこそ、個人の前進も可能なのです。

【引用文献：いのちある言葉（発行：童心社）】

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育研究所「教育相談室」に気軽に電話を
してください。来室相談も受け付けています。

相談電話（門川町教育相談室）
Tel・Fax 63-1566